

令和4年度印西市地域密着型サービス運営協議会
第1回会議議事録

開催日時：令和4年9月7日（水）書面開催

次第

議 題 地域密着型通所介護事業所の指定について
(リハビリデイサービス-Alice-アリス)

出席者：清宮康嗣委員、飯塚真司委員、五十嵐順郎委員、志賀泰次郎委員、川久保平一委員、宮崎康子委員、永代成日出委員、中島信行委員、近藤幸一郎委員、後藤めぐみ委員、奥田真委員、筒井慈子委員

事務局：高齢者福祉課

会議資料：資料1

議事内容

意見
<ul style="list-style-type: none"> ・需要が期待できるリハビリデイが市内に新たにオープンすることは、喜ばしいことだと思います。売りとして、運動マシンの充実や理学療法士の配置などがなされると、リハビリデイとしての魅力がさらに増すのではないのでしょうか。 ・ニュータウン地区には半日のリハビリデイが今までなかった為、選択肢が増える事になると思います。立地も駅の近くであり、人通りがある場所であり、日常において孤立しがちな高齢者にとって心の賑いになるのではと、期待いたします。 ・牧の原地区は人口も急増しており、地域として妥当と考えます。 ・施設は食事、入浴を省いて機能訓練に特化、全体面積も十分かと思います。

質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ主体の事業所なののでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・【事務局回答】食事と入浴を省いた機能訓練に特化したリハビリ主体の事業所になります。
<ul style="list-style-type: none"> ・約3km半径のみの送迎ということですが、約15分以内であれば3km超もOKということでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・【事業所回答】その理解で結構です。印西市の介護予防にできる限り貢献して参りたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・従業者常勤3名で、10名の患者さんのリハビリが出来るのか？また、火災・地震等の時、避難誘導は出来るのか？不安です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【事業所回答】10名になった場合（7名また8名のころ）にはスタッフを1人追加することを予定しております。リハビリはIoTを利用し、健康長寿医療センターのデータをもとに科学的エビデンスに基づいた理論マシンを導入しております。そのため、3名ないし、4名でリハビリの実施は可能と考えます。避難誘導は基本的に自立歩行が可能な方を想定しているため可能と考えます。また避難訓練も積極的に実施して参ります。
<ul style="list-style-type: none"> ・利用予定の当日のキャンセル料は発生するものなのですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・【事務局回答】地域密着型通所介護の提供については、事業所と利用者との契約によってキャンセル料を徴収することが可能です。ただし、月額包括単位の報酬請求の場合には、徴収することができません。

<ul style="list-style-type: none"> ・食事の提供はなくても、コロナ感染対策として、換気の方法をどのようにご検討されていますか？入り口玄関、非常口のみで窓開け、2方向換気ができない環境ですのでお聞かせください。 ・設備に関する基準において、トイレの広さ等に関する規定はないと思いますが、事業所図面を見るとトイレが1.4㎡であって、トイレ入口が便座の向きの左側から入るようになっています。車いすを利用する利用者がこのトイレを利用するには、狭小で、使いづらいうように感じますが如何でしょうか。 ・トイレのドアが開けるとすぐキッチンの配置で衛生面が気になりました。また、杖歩行の方でも立ち上がり時など必要な方もいますが、トイレ内に手すりなどの設置はありますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・【事業所回答】入口と裏口の窓を開けて換気を致します。入口を閉めている場合にはサーキュレーターの使用も検討しています。 ・【事業所回答】トイレには手すりを設置致します。在宅を想定し自宅でもよくつかわれるようなものを設置しております。車椅子の方は外になりますがユニバーサルトイレがございますのでそちらの利用も検討しております。
--	---